

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	森山 央	学校名	東京都昭島市立昭和中学校
実施学年	第1学年	教科	国語
单元名	2 新しい視点で『ダイコンは大きな根?』 稲垣 栄洋		

《学びを深めたいポイント》

中学校に入学して間もない1年生に、中学校の国語の授業の取り組み方を理解してもらいたい。タブレットが生徒全員に配布されて授業の方法がデジタル化されてきている昨今、Google や SKYMENU の使い方を覚えてもらいたい。その導入として『ダイコンは大きな根?』という説明文を意味段落に分ける取り組みをした。

個人でワークシート(WS)に取り組み、それを班討論で深め、黒板に班ごとに書き込んだり掲示したりしてた方法から、SKYMENU の発表ノートで提出させライブ提出箱で共有し、班長用のプロットにまとめさせ、クラスで共有する方法に変えた。

意味段落を考えさせるのは説明文を読み解くうえでも大変有効な手段である。さまざまな視点と出会うことでさまざまな見方をすることができる。同時に読み物の読解も深まる。それが「新しい視点で」という单元目標につながる。

意見交換と読解力の向上がこの授業のねらいである。そして中学校の授業の進め方(タブレットを使って行う方法)を理解してもらいたい。

《SKYMENU 活用のポイント》

デジタルが苦手な生徒もいることを考慮し、WS の作成はデータとプリントの二種類を用意する。それをもとに発表ノートでプロットを作成し、生徒に配布。生徒は配布された発表ノートを自分の発想をもとに効果的に仕上げていく。プリントで作成したものは画像で貼り付け、スタンプやペンで加工していく。

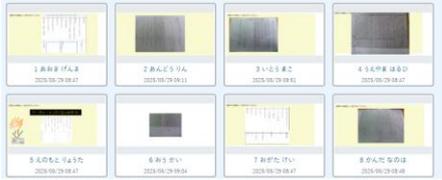
出来上がった発表ノートはライブ提出箱に提出させる。未提出者ボックスにチェックを入れさせ、提出したものだけを表示し、どんどん共有させる。途中でいくらかでも自分の発表ノートは改善しても良いことを告げる。

スライドショーで模範的な作品を映し出し、マーカーで良いところを示していく。

出来上がった発表ノートは採点して返却する。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを提示する。 ・ワークシート(WS)の完成状況を確認する。 ・SKYMENU の発表ノートの開き方と作成方法を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を開始し、発表ノートを提示する。 ・すでに完成している生徒にはライブ提出箱での提出方法を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成に関してはペンやスタンプなど自由に使って良いことを明確にする。

<p>展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・WSの作成状況を見守る。 ・巡回支援をしながらWSの完成者を増やしていく。 ・提出者が増えるまで別の課題を与えておく。(意味調べや問題集の取り組み) ・WSの共有。 ・WSの修正。 ・概ね提出できたことを確認して班討論をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・WSが完成した生徒からSKYMENUを開かせ、発表ノートを作成させる。 ・発表ノートが完成した生徒からライブ提出箱に提出させる。  <p>意味段落を分析し、画像やデータで提出させ、理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライブ提出箱を開き、お互いの発表ノートを共有させる。 ・班長専用の発表ノートを配布する。  <p>班討論した結果を班長にまとめさせ、クラス全員で共有を図った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・データの貼り付け方法や文字入力などについて支援する。 ・提出のしかたを支援する。 ・提出箱の作品は修正過程もすべてライブ配信されることを伝える。
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・班討論の進捗状況を確認する。 ・次回の授業で班討論を終わらせ、班としての意味段落を提出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドショーでマーキングしながら進捗状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・画像が小さくなる場合は、各自のタブレットへ配信し、手元でマーキングを見せると効果的。

《実践を振り返って》

SKYMENUの扱いやすさが際立った。授業中に思い付いたプロットをその場で作成し配布するのも容易である。事前準備に時間を取られないのは非常に良かった。

発表ノートのグループ化を利用して班討論の結果を提出させるのは大変役立つと分かった。スライドショーのマーキングもとても効果的だった。

生徒は遊び感覚で楽しみながら学習を進めることができた。行き過ぎてしまう生徒へはロック機能を利用しながらコントロールしていった。

生徒の興味関心も高く、集中力も維持できたので今後もSKYMENUは活用していきたい。